

2007年度第12回理事会 議事録

2008年5月30日
日本地質学会 会長 木村 学

期 日：2008年5月17日（土）12:30～17:00

場 所：産業技術総合研究所 秋葉原ダイビル 会議室

出席者：木村会長、伊藤副会長、佃副会長、渡部常務理事・天野副常務理事・上砂・狩野・公文・倉本・斎藤・中山・久田・藤本・向山・宮下・矢島（各理事）、高木・井龍・石渡・坂口・藤林（以上2008年新理事）、橋辺（事務局）

欠席者：Wallis、小嶋・岩森（新理事）

*成立員数（12/17）に対し、出席者16名、委任状1名、欠席者0名で、理事会は成立。

報告事項

1. 運営財政部会（部会長-上砂，中山，向山，倉本）

総務委員会（委員長-上砂）

- ・ 神奈川県立生命の星・地球博物館より、平成20年度夏期特別展「箱根火山～新しい箱根火山の形成史(仮称)」の後援依頼を承諾
- ・ IUMRS学会より、「The IUMRS International in Asia 2008」の協賛依頼を承諾
- ・ 2008年度地球化学会年会（9/17-19）の共催依頼を承諾
- ・ 山陰海岸ジオパーク推進協議会（会長：豊岡市長 中貝宗治）より、「山陰海岸ジオパークフォーラムー日本初のジオパークを目指してー」（5/10）後援依頼を承諾
- ・ 筑波大学より、2008年度朝永振一郎記念「第3回科学の芽賞」（小中高対象8/20-9/30募集）の後援依頼を承諾
- ・ 産総研地質調査総合センターより、「地質情報展2008あきた」の共催依頼を承諾
- ・ ゼオライト学会より、第24回ゼオライト研究発表会（11/26-27）の協賛依頼を承諾
- ・ 日本科学技術振興財団より青少年のための科学の祭典2008（7月～8月）後援依頼を承諾
- ・ 清川昌一会員より国際シンポジウム「先カンブリア時代の世界：現在と過去の熱水システムから見た環境変遷」（2009年3/6-8）の共催依頼を承諾。
- ・ 日本学術振興会賞募集案内（5/28-5/29受付期間）をHP, News誌に掲載
- ・ 大学婦人協会守田科学研究奨励賞第10回授賞式招待（5/10）、矢島理事が出席。
- ・ 石灰石鉱業協会会長交代：新会長 鮫島章男（太平洋セメント）
- ・ 産総研地質調査総合センターより代表交代等の挨拶状：新代表 加藤碩一
- ・ 文科省より、平成20年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞および若手科学者賞受賞者の推薦について案内があった。学会推薦のみ受付可。締め切り7月18日。Webサイト、News誌で広報し、学会のメ切りは6月末日とし、理事会で検討する。

会員関係（担当理事 中山）

- 1) 入会者19名（正18，うち院13）小阪哲也 藤井正美 堺 俊樹 大藤貞夫 池田安隆
金山健太郎 福本奈由 黒須弘美 今井智文 岡崎一浩 伊藤洋平 繁田善幸
会沢辰介 横山真人 洞口圭史 小竹敦子 山田哲史 坂本 亮
（準1）細井 淳
- 2) 退会者(4名)
（正3）岩崎好規 岸本 圭 長久保恵美
（準1）湯川達也
- 3) 4月末日会員数
賛助32，名誉74，正4,243（うち院162），準21，合計4,370（前年同期比-83）

関連学会連合（担当理事 天野）

自然史学会連合（斎木健一委員）

自然史学会連合として大阪府知事に対し、大阪府の博物館施設「見直し」に対する要望書を提出した（4/21）。

学術会議関係報告（木村会長＝連携会員）

分科会の現状説明が行われた。

会計関係（担当理事 向山）

- ・ 5月8日会計監査の報告が行われた。

広報委員会（担当理事 倉本）

地質学雑誌表紙デザイン選考結果について

5/16 二次選考会の結果と、最終選考案について報告され、選考結果報告書の作成と雑誌編集委員会への引き継ぎが了承された。

ニュース誌編集小委員会（担当理事 倉本）

- ・ 編集体制の確保について意見交換され、実質的な委員会体制を早急に整えることとした。

2. 学術研究部会（部会長-公文、）

行事委員会（斎藤委員長）

- ・ 秋田大会について
秋田県教育委員会および秋田市教育委員会に対し秋田大会全体の後援を依頼することとした。

専門部会連絡委員会（担当理事 天野）

- ・ 専門部会メーリングリストのシステム整備に関連し、会員情報の閲覧、修正、変更のシステムが5月末納品予定と報告されるので、その後は会員の部会登録も進むものと思われる。システム完成時に部会長会議をオンラインで行う予定。？

国際交流委員会（公文 国際特任理事）

- ・ 2国間協力の各委員会体制を確認し、この中で日韓については、秋田大会でシンポジウムが開催される、秋田大会実行委員会からの了承が得られた事が報告された。韓国地質学会会長の招待について具体的に対処するよう会長から要請があった。

3. 編集出版部会（部会長-狩野，久田，宮下，Wallis）

地質学雑誌編集委員会（委員長-狩野 副委員長-久田，宮下=企画担当）

- ・ 今月の編集状況は以下の通りです（5月15日現在）。

114-5月号：論説3・短報1・ノート2・報告1（48ページ校正中。5/22校了予定）

114-6月号：論説2（入稿準備中）

2008年度度投稿論文総数36編〔論説23（和文21 欧文2）、総説8（和文8）短報1，討論1 報告2 ノート1〕口絵1

投稿数昨年比 +5 査読中55編 受理済み9編（うち 論説7 短報1 討論1）

企画部会報告（宮下）

- ・ 特集号について

下記5件の特集号が査読および準備中

「最終間氷期の環境変動ー日本列島陸域と周辺海域の統合を目指してー」査読中

「プレート沈み込み帯と地震」（世話人 廣野哲朗ほか）査読中

「日本海沿岸褶曲・断層帯の形成・成長と地震活動」（世話人 高木秀雄ほか）投稿準備中

「陥没カルデラ（I）：構造とマグマ」投稿準備中

「モデル実験で探る地形・地層形成過程のダイナミクス」（世話人 横川美和ほか）投稿予定連絡あり

Island arc 連絡調整委員会（委員長 会田，担当理事 Wallis）

次期担当理事引継ぎ検討の中で、本委員会の必要性について話題になった。現状ではIsland arc編集委員会長が担当理事として理事会に加わっており、また、科研費の申請もなくなり、当初必要とされた意味も徐々に解消されてきているとの判断し、会田委員長と相談の上で、本委員会の終了を検討することとした。

企画出版委員会（担当理事 藤本）

4. 普及教育事業部会（部会長-矢島，藤本）

地学教育委員会（委員長-阿部国広）

- ・地学オリンピック委員会に小泉治彦氏（千葉県立柏高等学校）を推薦する。
- ・秋田大会では、昨年と同じように、教員巡検、小中高生徒のポスター発表、地学教育セッションを予定している。
- ・秋田県、秋田市の教育委員会へ秋田大会への後援をお願いする方向で折衝中である。

国際地学オリンピック日本委員会（久田）

- ・本年度オリンピック最終予選の参加者への記念品提供を求められ、了承した。

地層名委員会（委員長-天野）

- ・第四紀問題についての現状報告が行われた。

5. その他

地質災害委員会（担当理事 天野）

- ・具体的作業は藤本次期副常務理事が担当し、ミャンマーと中国四川の自然災害への対応を検討することとした。学会長から中国地質学会長へのお悔やみレターを発信すると同時に、会員に向けたメッセージを公表することとし、倉本広報担当理事、渡部常務理事が協力することとした。

JABEE 委員会（委員長 天野）

- ・第9回総会の開催，6月12日(木)13：30 から→天野委員長は欠席

【以下，理事会および評議員会の下の委員会】

就職支援ワーキンググループ（伊藤委員長）

- ・5/7 委員会開催，ニュース誌に関連職業の紹介を掲載すること等について話し合った。

各賞選考委員会（委員長 安藤寿男）

- ・選考対象論文の引用の適切性についての地質学雑誌編集委員会からの回答に基づく報告書が送付された。選考時に疑義のあった論文の引用について不適切ではないとのものとされた。本報告の扱いについては評議員会議長に任せることとした。

法人化実行委員会（委員長一齊藤靖二）

- ・法人化作業委員会の活動を総会後に開始することとし，現実行委員会の終了を斎藤委員長の了承を得て行うこととした。

法務委員会（担当理事：委員長 上砂）

- ・検討中の案件の進行状況説明があった。日本地質学会利益相反防止規程（案）を理事会で検討する事を了解した。

7. 地質の日委員会（藤本委員）

- ・本年度の地質の日事業についてとりまとめを行い，事業報告を公表することとした。

審議事項

1. 新理事の担当分担と新旧の引継ぎ

次期理事候補者と現理事会の協議により，以下の通り次期理事会担当案を策定した。

常務理事（以下候補）：	渡部
副常務理事：	藤本
情報特任理事：	倉本
国際特任理事：	石渡
運営財務部会：	上砂
同会員・会計担当：	向山
同広報担当：	坂口
学術研究部会：	石渡（併任）
同行事担当：	斎藤
編集出版部会：	久田
同雑誌編集委員長：	久田（併任）
同雑誌編集副委員長：	小嶋
同雑誌編集企画部会：	岩森

同アイランドアーク担当：井龍
普及教育部会： 矢島
同アウトリーチ担当： 藤林

その他の理事会担当委員会等については以下の通り（変更交代のみ）

関連学会連合，地理関連学会連合：藤本副常務
専門部会連絡委員会：藤本副常務
国際交流委員会：石渡国際特任
企画出版担当：藤林
名誉会員推薦委員会：佃副会長
就職支援ワーキンググループ：伊藤会員
支部長連絡会議：高木副会長
地質災害委員会：藤本副常務
JABEE 委員会：天野会員
技術者継続教育委員会：公文会員＋学会事務局
ジオパーク支援委員会：天野委員長，高木副会長（委員）
日本ジオパーク委員会：高木（委員）
法人化実行委員会：発展的に法人化作業委員会に再編成：渡部常務
法務委員会：上砂
オンライン化委員会：斎藤
地質の日委員会：藤林

2. 総会議案・資料確認、運営について

総会議案，ならびに資料の説明を行い，理事会として確認した。

3. その他

1) ニュース誌に連載する紹介記事の提案

矢島普及教育部会長より，国内の地質出身者へ各産業セクターごとにインタビュー記事を連載すべく提案があり，企画を進めることとした。